

私たちの思い。

政治には現実の認識が必要です。

第二次安倍内閣による政治の安定は、多くの方が認められることではないか
と思います。バブル崩壊以降の停滞、低迷から、新元号の下で、東京オリン
ピック・パラリンピック、2度目の大阪万博などを迎える日本には再生、復
活の兆しを強く感じ、この流れを確実にしなければなりません。一方で、北
朝鮮の核問題や拉致問題をはじめとした緊張の度合いを増す東アジア情勢な
ど国際情勢は予断を許さず、今は大変な時代です。大変な時代だからこそ、
政治には、現実をきちんと認識し、先を見据えた対応が重要と考えます。



政治には一貫性が必要です。

人口の減少、少子・高齢化の進展など、私たちの岩国・和木地域も、山口県も、
日本も大きな困難に直面しています。困難な時代だからこそ、明日に向けて
活力みなぎる強い地域を実現しなければなりません。平成の次の時代に向
けて、確かな国づくりを進められる安倍内閣の取り組みと、山口県で進
められる産業力の再生・強化を柱とした地域の再生の取り組みと連携し、
国と県と岩国・和木地域が一貫した取り組みを進めることが必要です。



政治にはビジョンが必要です。

先の見えにくい時代だからこそ、政治には先を見通したビジョン、夢を
提示し、困難を克服して、実現していくことが求められます。具体的な
ビジョン、現実的な手法を提示し、困難を恐れずに、実現していく強さと、
しなやかさが求められます。政治家には、「夢」を描き、ビジョンを具
現化する行動力、実現力が何よりも求められると、私たちは思います。
だからこそ、夢を描き実現する政治家を支えていきたいと考えます。



岩国・和木地域から
山口県の活力を創りましょう。

はたはら ゆうた 勇太





はたはら勇太プロフィール

昭和 59 年 5 月 14 日 生まれ (34 歳)。岩国市錦町出身。
錦町立向峠小学校、同錦中学校、学校法人崇徳学園崇徳高等学校を卒業。
平成 20 年 3 月 帝京大学経済学部卒業
平成 27 年 6 月 株式会社ナルキ代表取締役社長
平成 29 年 6 月 同社を退社
平成 30 年 2 月 山口県議会議員補欠選挙当選 (現在 1 期目)
山口県議会での活動 / 農林水産委員会、決算特別委員会に所属

社会活動 / 岩国青年会議所、岩国商工会議所青年部、
岩国地区自衛隊協力会など
好きな言葉 / 迅速果断、桃李成蹊

岩国・和木地域が、今、取り組むべき課題は山ほどあります。

その中から、「8つの思い」をはたはら勇太さんと共に実現しよう。

◎「やまぐちの強い産業」を実現しましょう。

地域の活力源は産業です。瀬戸内産業の再生強化に不可欠な港湾施設などの産業基盤の整備、企業誘致と新規創業の促進、中小企業の経営安定や農林水産業の振興など、次代に向けた産業政策を全力で取り組むことが必要です。

◎人口減少をストップ！

2040年には102万人まで減少すると見込まれる山口県の人口。人口の減少は深刻です。結婚から出産・育児を通じた一貫した少子化対策、県内定住促進などを強力に進めましょう。

◎岩国・和木地域から新しい地域づくり。

コンパクトなまちづくり、中心市街地の活性化、中山間地域振興対策の充実、基地交付金の拡充と交付金を活用したまちづくり、これを支える道路網の整備など、地域の発展基盤づくりを進めましょう。

◎交流人口の拡大と基盤づくり。

人口減少時代を迎え、交流人口の拡大は重要な課題。岩国錦帯橋空港の機能拡充、港湾の整備、岩国南バイパスや岩国・大竹道路など道路網の整備、錦帯橋の世界文化遺産登録、武道館の建設によるスポーツを通じた交流の促進などを進めましょう。

◎地域の「教育力」の強化。

次代を担う子ども達のために、学力の強化、県立高校の充実などの教育環境の整備、放課後学級の拡充、岩国・和木地域における基地内大学への留学支援策、奨学金制度の充実による就学機会の改善などの取り組みを進めましょう。

◎福祉や医療の拡充。

高齢化社会に向けた地域社会づくりや、障害者が地域でくらしやすいバリアフリー化の推進、災害時などの救急医療機能の拡充整備、国立病院機構岩国医療センターを核とした地域の医療体制の拡充整備など、福祉・医療の充実を進めましょう。

◎“安心・安全”の実現。

平成17年、25年、30年と岩国・和木地域に豪雨災害が発生。河川改修など防災・減災対策は急がれます。米軍岩国基地を巡る課題の克服に努め、くらしの安心・安全の確保を全力で進めましょう。

◎快適なくらしづくり。

豊かな森林づくりや地球温暖化防止、鳥獣被害対策の拡充強化、農林水産業の振興など中山間地域を支える基盤の形成など、日々のくらしを守る快適なくらしづくりを推進しましょう。

